

# 桃園小学校・向台小学校統合委員会 要点記録

## 第 9 回

開催日時	平成 29 年 12 月 7 日(木) 午後 6 時 30 分～8 時 40 分	
開催場所	弥生区民活動センター 洋室 3、4 号	
出席者	委員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、大石直臣、吉田昌平、大島由美子、越坂部千明、瀧本和江、木下克美、清水好博、岩本昌夫、阿部正幸、奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、井上江見子、松久保雅和、板垣淑子、石原千鶴 (敬称略、順不同)
	その他	子ども教育施設担当
	事務局	学校再編担当
会議次第	<b>【報告】</b> 1 桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の基本設計（案）について <b>【議事】</b> 1 統合新校の校名について 2 その他	

## 第 9 回 桃園小学校・向台小学校統合委員会 会議要旨

### 委員長

定刻となったため、これより第 9 回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者がいるため、許可を諮りたい。

一異議なし

### 委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。本日の統合委員会では、新校舎の基本設計（案）に関して、教育委員会の施設担当の職員が出席している。それでは、議事に入る前に報告事項がある。（1）桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の基本設計（案）について、事務局の説明を求める。

### 1 報告

報告（1）桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の基本設計（案）について

■資料「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等整備基本設計（案）について」について、教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

※詳細は、中野区教育委員会ホームページ「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の整備について」を参照。<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/655000/d023716.html>

### 委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。

### 委員

12月14・18日に地域説明会が催されるが、本日の説明と同じ内容か。

区担当

そのとおりである。

委員

第5回・第6回統合委員会で基本構想に関する資料を見て様々意見を述べた。その時の意見も検討してもらったことが分かるし、こんな校舎が出来れば嬉しいとワクワクしながら図面を見ている。

委員

資料4ページの乳幼児室は、過去の資料では子育てひろばという記載で事業内容についても説明があったと思うが、今回表記が変更になっているのはなぜか。事業の内容に変更があったのか。また、屋上プールの日よけ等の設置と屋上の児童が運動できる場所の確保は図面からは読み取れないが、どうなっているのか。

区担当

子育てひろばは、事業の内容を表した言葉であるため、部屋の名称は乳幼児室と表記することとし、修正した。事業の内容について変更はない。続いて、プールの日除けについては建物の高さや周辺環境等を考慮してどのような対策ができるか引き続き検討している。同様に、屋上の児童が運動できる場所の確保についても室外機や屋上の一部緑化等の必要な機能をコンパクトにまとめた上で、児童が安全に出入りできる場所を少しでも確保できるように検討を進めている。

委員

学童クラブは面積によって収容できる人数が決まっているが、学童クラブを利用したい児童が増加した場合には、パーテーション等を動かして面積を増やし、定員を拡大できるような設計になっているのか。それとも学童クラブの面積は決まっていて、入れなかった児童はキッズ・プラザで対応していくことになるのか。

区担当

学童クラブは1人当たり1.65平方メートルの面積を確保する必要があり、これは区の条例で定められている。その条例に基づき基本設計（案）では、定員60人を想定している。必要数に足りない分は、地域に民設民営の学童クラブを誘致していくと所管から聞いている。資料4ページの活動室Ⅰ・Ⅱは学童クラブの面積に入っておらず、放課後の児童の過ごす場所や土曜日に活動する場所として想定している。

委員

定員60人では全く足りないと思うが、これ以上面積は増やせないのか。校内の学童クラブに安心して預けたいと思う親は多いと思う。

区担当

桃園小学校・向台小学校の統合新校だけでなく、今後学校内に整備する学童クラブは基本的に定員60人で考えている。

委員

面積を確保しないと定員が増やせないのであれば、パーテーション等で区切るなど工夫してもらいたい。定員60人の計画が先にありきで、面積が決まっているような印象もあり不満である。

委員長

学童クラブの面積・定員についてこのような意見が出たということを所管に伝えてもらいたい。

区担当

了解した。

委員

上履きを使用しない一足制について、これは今後改築する学校については導入していくという考えで良いか。

区担当

そのとおりである。

委員

一足制を導入する理由を詳しく説明してもらいたい。

区担当

新しく建てる学校について議論した中で、新校舎に備えるべき教育環境の一つとして、教育委員会から一足制が提起された。今回整備する地域開放型学校図書館、キッズ・プラザ等の他の施設との一体的な利用が可能になること、バリアフリー等の対応が可能になるなどが理由である。また、2階から4階までバルコニーを付ける計画であるが、このバルコニーも児童が自由に使えたり、脇にある階段から上がっていきたりと、子どもたちの自由な動きが可能になると考えている。

委員

校庭を人工芝にして室内に土や砂が入らないようにするということであるが、衛生面で良くないのではないかと。また、掃除は児童にさせるのか。

区担当

人工芝にすることで、土や砂の侵入は抑えられると考えている。掃除は学校運営に関わる事項のため、学校でどのように行うか決めてもらうことになる。

委員

上履きのない学校だと汚くて嫌だと感じる保護者もいると思うし、上履きに履きかえるというのが日本の文化である。加えて言えば、学校に他の機能を詰め込んだ結果、昇降口の場所が取れず、一足制にしたのではないかと思われてもおかしくない。資料4ページを見ても昇降口がとても狭い。

区担当

これからの新しい学校をつくっていきこうという時に、一足制の導入をきっかけにして新しい教育環境について協議しながら良いものを作っていきたいと思っている。

委員

人工芝の材質はどのようなものか。

区担当

材質については検討中である。

委員長

人工芝の材質によってはできない競技があると聞いている。校庭を全面人工芝にするのか、部分的に人工芝にするのか等の検討もしてもらいたい。

区担当

学校でこういった活動・運動をするのか等、意見を聞きながら検討していく。

委員

桃園小学校では地域の方も参加する花火教室が行われている。今後も続けていきたいと考えているが、人工芝上で花火を行っても良いか。

区担当

そのような活動があるというのは聞いている。ただ、人工芝上での火気使用はできない。例えば、防災上の観点では、窯の火を炊くなどの火気使用が必要な場合もある。そうした時に対応できるスペースというのは校庭の一部に取る必要があると思う。

委員

非常に長く続いていて、地域からも好評のイベントなのでどうにか続けたい。

委員

特定の教室や昇降口等の面積をもっと広くしてほしいという意見は反映できるのか。

区担当

基本設計（案）は、教育委員会内で協議を重ねた結果の最終案であり、この形でいこうと決定したものを示している。統合委員会や地域説明会でも頂いた意見はできるだけ反映して良い学校をつくっていききたいが、面積を広くとるなどの大きな設計の変更は難しいと考えている。

## 委員

特別支援学級の先生方から意見があったのでこの場で伺いたい。一つ目は、面積がひまわり学級より1教室分減っているため、どのように机を配置するかが課題となっている。パーテーション等を使用して、学年の人数が変わっても柔軟に対応できるようにしてもらいたい。二つ目に、ひまわり学級の子どもたちは音や匂いに敏感なので、給食室の音や匂いを防ぐような設計にってもらいたい。三つ目は、調理だけでなく畑から収穫するというも行っているため、畑や学級園、花壇等の緑のスペースも検討してもらいたい。最後に、地域・保護者の方へのお願いであるが、新校舎にはひまわり学級専用の調理場が用意できないため、教育内容そのものを変えなければいけないこと、今まで説明してきたとおりの内容でない恐れがあるということを理解してもらいたい。

## 区担当

一つ目の特別支援学級の面積について、学年の人数によって教室の使い方が変わってくるということなので、特別支援学級1・2・3の間仕切りについては工夫したい。なお、児童数が見込み以上に増え、これでも場所が足りないということであれば同じ1階の会議室等を転用のうえ使用していく等、工夫の余地を想定した署室配置としたい。二つ目の給食室の音や匂いを防ぐ仕様については、十分配慮していくほか、食育的な観点で特別支援学級の子どもに限らず児童が給食室の中を見られる環境というものも整備していきたい。三つ目の畑等の緑のスペースについて、資料4ページの校舎の前に学級花壇を記載している。同じく学童クラブの前の空欄四角の箇所も緑のゾーンになる見込みである。

## 委員

統合新校の体育館の大きさはどのようになるのか。というのも、もう少し大きければ公式戦に使えたのという施設が多いためである。各競技に関する必要な大きさ等は体育協会に聞いてもらいたい。小学校の体育館も地域開放すると思うのでぜひお願いしたい。

## 委員長

先ほどの話に加えて、体育館の天井高は何メートルか。

## 区担当

バレーボールができる高さで7.7メートルを予定している。

## 委員

照明の高さ等、小学生向けというだけでなく、少し余裕を持った造りになると良いと思う。

## 区担当

体育館は桃園小学校や向台小学校よりも大きくなる予定である。具体的に言うと、体育倉庫等を含めた面積比で桃園小学校の約1.4倍、向台小学校の約1.8倍の大きさになる。ただ、そのように大きくはなるが、例えばソフトテニスの正式な競技をするためのサイズは確保できない。地域開放の際には、利用される方の安全が確保できる競技を行うようになると思う。

## 委員

我々の小学校時代は拭き掃除や掃き掃除のやり方を教えてもらって、掃除を通して様々な面も鍛えられてきた。今の子どもたちはあまりそういったことを教えてもらっていないように感じる。せっかく改築するので、校舎を綺麗に使うということを指導してもらいたい。

## 委員長

新校舎が出来上がれば運営も変わってくると思う。先生方よろしくお願いしたい。

他に質問等あるか。ないようであれば、議事(1)の統合新校の校名について、事務局の説明を求める。

## 1 議事

### 議事(1) 統合新校の校名について

■資料「校名募集の絞り込み結果について(2回目)」について、事務局から説明

前回、1回目の絞り込みで31件となった中から良いと思う校名を絞り込み、9件となった（もものだいと読む校名は1つとして計算）。番号は第7回の資料の番号を引き継いでいる。

校名若しくは理由が、桃園・向台小学校と関係するもの				
35	桃園	ももその	36	桃園台
37	桃園第一	ももそのだいいち	39	桃園向台
48	桃台	もものだい	49	ももの台
50	桃ノ台	もものだい	51	桃の台
地名に関するもの				
75	中野坂上	なかのさかうえ	76	中野第一
79	中野本町	なかのほんちょう		
自然等に関するもの				
97	朝日	あさひ		

委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。ないようであれば、今回も校名を絞っていく必要があるため、選定方法や、良いと思う校名等について意見を聞いていきたい。

委員

ここに残った校名のうち、桃園小学校・向台小学校に關係する校名が良いと思う。

委員

最初から、「中野第一」が良いと思っている。

委員

「中野第一」が良い。やはり桃園小学校が中野区で最初に開校した小学校だというのが分かるのが良い。新入生が入ってきてすぐ理解できると思う。

委員

「桃園」という名前は歴史をそのまま体現しているので、ぜひ残したい。残った校名のうちでは、「桃園第一」が昔の校名を使っていて良いと思う。次は、向台小学校の「台」を入れて「桃園台」。3番目は「桃園向台」。この3つが良いと思う。

委員

やはり歴史から考えても桃園の名前か、「桃」と入っている校名から選びたい。

委員

同じく桃園の歴史を大事にしたいので、「桃」と入っている校名が良い。

委員

地域の方から校名はどうなっているのかという質問を受けることが多くなった。地域の方からは、残っている校名に「桃園」と付くものが多くて違和感を覚えるという意見があった。保護者からも、両校の校名が残っていると開校当初の数年間には人数や開校年数の差が目に見えてしまい、何かトラブルが起こってしまうのではないかという心配の声があった。このような意見が保護者から出ているということもあり、両校の校名が入っていない校名から選びたいと思う。

委員

今でもまだ決めかねている校名が2つある。1つは「朝日」である。前回も同じ意見であったが朝日が昇るイメージが元気・明るく揚々としていること、太陽が昇るイメージが本当に子どもの成長に合っているため、校名になったら素敵だと思う。声に出して読んでみても響きが良く、笑顔になる校名だと思う。もうひとつは、「ももの台」である。桃園の「桃」を残しながら、百年という意味も込められる。

校名の検討をしていく中で、地域あってこそその学校・地域に愛される学校という意見があり、その通りだと思うが、学校の主役はあくまで子どもたちであると思う。子どもたちを第一に考えた校名が良い。両校を廃止して新たな学校を作るという統合の意義に立ち返り、偏りのない校名にしたい。「桃」や「第一」がつくとどうしても「桃園」のイメージが強く偏っている気がする。どんな校名になるのか楽しみにしている子どもたちに、胸を張って、こういう思いが込められているのだと言いたい。柔軟な心を持つ子どもたちなのでどんな名前になったとしても、きちんと

説明をすれば納得してくれるだろうし、数年経てば何の違和感もなくその校名が地域に溶け込み、なじんでくると思っている。

委員

委員の色々な思いを聞いて、どの校名になっても良い校名であると思っている。残っている校名をもう一度考えたが、桃園第二小学校があるので「桃園第一」が良いのではと思う。中野区・杉並区で一番古い学校であったということで納得できると思う。

委員

桃園という言葉は桃園小学校ではなくて中野区の歴史を表す大切な言葉である。古いものを残すという行政の姿勢が必要ではないか。両校の名前を残すということで「桃園向台」が良いと思う。両方の地域が納得する校名である。

委員

子どものための、子どもらしい校名にしたい。もちろん桃園小学校の歴史は長いことは承知しているが、向台小学校も80年の歴史がある学校である。中野区立小中学校再編計画（第2次）が発表されたときに、桃園小学校と向台小学校の統合については吸収合併のイメージが先行し、地域の皆が複雑な思いをしていた。それから教育委員会に様々な形で周知してもらい、対等な統合であることがようやく認識されてきた。その悪いイメージを覚えている方も多いため、校名も対等な立場で考えた方が良い。そうすると両校の校名が入った「もものだい」が良いと思う。漢字はどれでも構わない。

委員

地域の方の色々な意見があるが、平等性という視点で考えている。平成が終わるのが見えてきたこともあり、未来志向で「朝日」が良いと思う。

委員

歴史を重んじるということで桃園の言葉は残したほうが良いと思う。ただ、向台地域に住んでいる方の気持ちも大事なので、両校の校名が入った、「桃園台」が良いと思う。応募者が書いた理由で、「中野の台地に桃園が広がっていたという史実を校名として残したい」とあり、向台の「台」も入っていて、史実も含まれている点が良いと思う。校名を聞いて漢字が思い浮かぶのも良い点である。また、両校が一緒になって頑張っていく意味で「桃園向台」も良いと思う。

先ほど「朝日」を推す意見があったが、朝日を連想した場合に必ずしも明るいイメージではなく特定のマスメディアや昔の戦艦の名前を思い浮かべる人もいるだろう。新しい言葉を使うときには、イメージするものが必ずしも皆が同じではなく、人によって異なるという点に留意が必要である。

委員

子どものことを考えると、「桃園台」というのは桃園に偏った校名に思えて複雑である。両校の名前が全部入っている「桃園向台」であればまだ納得できる。子どもたちの関係性や揉め事が起きるのではという危惧もあり、間をとって「桃ノ台」が良いと思う。

委員

地域の方の意見を聞いていると、桃園と向台の両方が入った校名が良いのではと感じる。

委員

向台小学校の保護者や子どもたちは、数年前に向台小学校が廃校になると聞いて大変不安に思っていた。今でも校名がどうなるのかと思い、心配しているところである。教育委員会で両方の学校を閉じて新校をつくと周知してもらい、ここ2年程は統合に対して皆が希望を持っている。そういう経緯を考えると、桃園の名前がそのまま残って「桃園台」というのは、向台小学校に関係している方の今の明るい前向きな気持ちを考えると、賛成しかねる。桃園小学校の長い歴史には敬意を払っているし、それはとても大事なことであると思っている。残っている校名の中では、「もものだい」と読むものが良いと思う。どのような表記にするのかは皆で話し合っ決めてたい。

委員

漠然とした意見だが、両校の子どもたちのことを考えて決めていきたい。

委員

3つで悩んでいる。1つは、桃園小の歴史を十分押さえながら、両校がこれから一緒になって仲よくしようということを考えると「もものだい」が良いと思う。次に、「中野第一」のように象徴的な校名が良い。中野の学校だというのがすぐに分かるうえに、ナンバーワンを目指すという意味を込めると子どもたちも意欲的になれるのではないか。最後に、「朝日」。新校の通学区域内に朝日ヶ丘町会があり馴染みのある名前である。

委員長

向台小学校が分校であった歴史を考えると、原点回帰で「桃園」でも良いのではと思う。また、「中野第一」という校名も良いと思う。校名を考えるのは大変であるが、数年したら馴染むと思っている。町名に関しても、古い名前を残さなかったため分かりにくくなったという意見が以前あったが、新しい人はそれで馴染んでいて不都合はない。委員の皆が納得できるように協議したいと思う。これで全員の発言が終わったが、皆の意見の中で出てこなかった校名はあるか。

事務局

「中野坂上」と「中野本町」は出なかった。

委員長

それでは、この2つは除いても良いか。

—異議なし—

委員長

もう少し絞り込みが出来ればと思うが、続いて意見はあるか。

委員

「中野第一」という校名についてだが、ぱっと聞いた時に中野区立第一中学校が思い浮かんだ。ナンバースクールは中学校の校名のイメージがある。

委員

それはどこにあるのか。

事務局

第一中学校は中野富士見中学校と統合して、南中野中学校になった。所在地は南台である。

委員

確かに似ているが、校名に込められている意味が違う。

委員

両校の校名が付くと揉めるので、「桃」や「台」のついた校名は一掃した方が良い。

委員

揉めるから避けるというのはあまり良い意見ではない。

委員

皆の意見を聞いたが、あと1回協議できるため、次回仕切り直して投票した方が良いと思う。

委員長

次回投票してはどうかという意見があったが如何か。

—異議なし—

委員

次回の投票では何個選ぶのか。

委員

最後なので、一番良いと思う校名を1つ投票したい。

委員

前回「もものだい」と読む校名を1つにまとめたが、この取り扱いはどうなるか。

委員

平仮名の「ももの台」と漢字とでは校名に込められた意味が違っているため、まとめないでもらいたい。

委員長

それでは、次回の投票では自分の良いと思う校名を1つ選ぶこと、投票時は「もものだい」と読む校名についてはそれぞれ別の候補として良いか。

—異議なし—

委員

投票した結果で一番多いものに決めるということか。多数決で決めてしまって良いのか。

事務局

これまでの統合委員会でも投票を行って、その結果をみてもう一度協議していた。この校名だけは絶対に嫌だという意見を述べられた方もいたが、最終的には皆で納得して決めている。

委員

決まった以上は、納得しなければならないと思っている。

委員

では次回、委員は1つ決めてきて投票し、それから漏れた校名を今回のように除く。多数決ではなくその校名を推薦した人がまた委員に説明し協議を行い、最終的に合意の上で決めるというプロセスで良いか。

委員

皆が自分の信念というものがあ、それは皆ばらばらで構わないと思う。ただ納得できるプロセスで行ってもらいたい。

委員長

そのようにする。それでは、次回は校名についての最終協議を行う。本日の資料から、「中野坂上」、「中野本町」を除いた「桃園」、「桃園台」、「桃園第一」、「桃園向台」、「桃台」、「ももの台」、「桃ノ台」、「桃の台」、「中野第一」、「朝日」の中で良いと思う校名を1つ考えてくるということをお願いしたい。

## 議事(2)その他

委員長

本日予定していた議題は以上で終了となる。何か発言等あるか。

委員

次回の統合委員会で、12月14・18日に開催される地域説明会で出た意見の概要等を教えてもらいたい。

区担当

了解した。

委員長

最後に次回の開催日程について、事務局から説明がある。

事務局

次回の日程は、2月1日木曜日をお願いしたい。場所は弥生区民活動センターで行う。

委員長

それでは、時期が近付いたら開催通知を事務局から送付する。その他に何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。